

令和4年度 学校経営方針

教育目標 深く考え 心豊かに 実践する生徒

重点目標(目指す生徒像)

○ これからの社会をよりよく生きぬく生徒

- ・自ら課題を設定し、課題解決に向けて、主体的に行動する
- ・自他の違いを認め合い、他を尊重しつつかかわり合い、合意形成する
- ・社会の変化に対応し、柔軟な発想と豊かな表現で未来を構想する
- ・世界的視野で考え、地域での活動を通して、地域貢献や社会貢献する

小中9年間で目指す子ども像(南教研)
主体的に学習を深め、地域に愛着をもち貢献する子ども

R4学校経営の基本方針

◇3C(Challenge, Change, Comfort) & Back to basic

1UPプロジェクトCS ～南浜の教育レベルを地域と共にあげる～

◇夢・未来・南浜プロジェクト Glocal School For SDGs

・学校運営協議会で合意形成し、地域と共に南浜中の教育レベルを上げる

◇それぞれの特性を生かし、個性を認め合い、1人1人が輝く全員主役の学校

1 主体的・対話的で深い学び

- ・振り返りは定着した⇒時間の確保、質の向上、振り返り内容の精査、ICT活用
- ・単元のまとまりを意識した振り返り、及び振り返りの振り返り、振り返りの活用
- ・シンカタイムの有効活用⇒形骸化させない、家庭学習への接続、意識づけが必要
- ・iPadの活用研修⇒必要性、必然性を考えた活用、効果的な活用
- ・学びに向かう力、主体的に学習に取り組む姿勢を育成するための授業改革
- ・ICTタスクフォースの継続充実

<授業改革で学習を変える>

- ①知識及び技能、②思考力、判断力、表現力等、③学びに向かう力、人間性等を主体的で対話的な深い学びでできるようにする。その際ICTを的確に活用する
- 振り返りの再考、家庭学習への接続の見直し(シンカタイムの目的と実施の徹底)
- 授業改革…生徒が自ら進んで学習にのめり込める、興味関心を持たせられる授業

◇ 振り返りとICTを活用を核に、生徒の主体的学習を促す授業改革により、学力の向上を図る(案)

カリキュラムマネジメント

2 自律性と社会性

- ・さまざま場面での話し合い活動で、主体的考える生徒増えた
- ・タブレットの有効活用による意見表明、表現する機会の増加
- ・そんな中で、一部の社会性の低さ、主体的に考え行動できない生徒の存在
- ・あいさつの低下、良好なコミュニケーション能力の育成が急務

- ・綿密な情報交換，報連相による全校体制の生徒指導
- ・生徒の自浄作用を促す取組⇒予防的生徒指導
- ・予防的生徒指導 including マルチレベルアプローチ with 教育課程 P T の創設

＜自律性と社会性⇒インプットを変える＞

生徒指導提要改定の趣旨に沿った予防的生徒指導⇒マルチレベルアプローチを教育課程に組み込む⇒P B I S，S E L，協同学習，ピアサポート
規範意識，自己肯定感，自己有用感，メタ認知力の育成⇒セルフコントロール
あいさつ，コミュニケーション力，想像する力，合意形成能力⇒より良い集団づくり

- ◇ 教育課程にマルチレベルアプローチを組み入れた予防的生徒指導の実践により，集団の質の向上を図る（案）

カリキュラムマネジメント

3 UDL・共生教育

- ・合理的配慮における効果的な I C T の活用，活用方法研究
- ・スタンダード 1 0 再確認⇒U D L の意識化
- ・合理的配慮事項についての情報共有，共通理解，職員間，学校と家庭
- ・個別のニーズの的確な把握
- ・S D G s，誰一人取り残さない，持続可能

＜U D L，S D G s（E S D），共生＞

生徒一人一人の特性把握⇒特性に合った支援＝合理的配慮（すべての生徒）
世界的視野，グローバルスタンダードによる支援⇒共通理解＋I C T 活用
労力対効果⇒合理的配慮の基準？どこまでが合理的なのか⇒共通理解＋I C T 活用

- ◇ 共通理解と I C T 活用で，ニーズ合わせた合理的配慮の提供を図る（案）

4 健康体力の向上，基本的生活習慣

- ・「三点固定」意識は高まったが，結果・成果が今一步⇒取組方法の研究改善
- ・三点固定の定期的授業（思考ツール活用），定期的見直し
- ・保護者を巻き込んで，三点固定・メディアコントロール
- ・生徒保護者の意識改革

社会に開かれた教育課程

＜時間管理＝生活習慣の改善＞

- ◇ 三点固定の徹底⇒メディアコントロールにつなげる

主体的に取り組ませる手立て⇒保護者・地域を巻き込んだルール作り

- ◇ 三点固定を徹底し，自らの手で生活習慣の改善を図る（案）

5 地域連携

- ・連携のあり方の再確認
- ・年間指導計画，単元配列表で位置づける，総合の目的の確認，教科横断的な活動
- ・地域貢献，生徒が出て行き連携する活動
- ・広報，情報発信（H P）の活性化

カリキュラムマネジメント

社会に開かれた教育課程

＜夢・未来・南浜プロジェクト＞

持続可能&W i n－W i n 関係の地域連携⇒学校運営協議会における検討
地域の意見の取り込み⇒地域貢献の活性化
コロナ禍の中の活動の工夫

- ◇ コミュニティースクールにおける，地域融合の質的向上と体制構築を図る（案）

ベクトルを合わせた全職員の参画による学校改革